

商業・食料品水産・料理飲食部会 合同で部会事業を開催

去る11月25日、商業部会・食料品水産部会・料理飲食部会の3部会合同による部会事業が開催されました。

人口減少や、少子高齢化など地域都市の疲弊が懸念される中、舞鶴市が今後どのように市政を進めていくのかお話を伺い、その上で部会事業や商いをどのように展開していくのかを考えるために開催されたもので、1部の基調講演と意見交換、2部が懇親会と2部制でおこなわれました。

まず基調講演として、舞鶴市企画管理部長の堤様から「舞鶴市の将来ビジョンについて」をテーマにご講演頂きました。

内容は現在の舞鶴市の取り組みと、今後のビジョンについて説明を受けました。今後舞鶴市は「交流人口300万人・経済人口10万人」を目指すことを目標に、潜在的にある豊かに暮らすための高いポテンシャルをベースとし、「京都舞鶴港の港湾機能の強化」、「都会並みの質の高い教育の実現」、「若年層の流出防止」など8項目のテーマを上げ、それを実現するために「内発型産業の支援」、「交通網の整備」、「地域医療モデルの推進」など今後の施策をお聞きしました。

講演のあと、参加者から海上自衛隊との今後の関係強化や、大型バスの駐車場整備などについて意見交換がなされました。

その後、第2部の懇親会では、異業種の交流ということもあり活発に名刺交換が行われ、自社の取り組みを説明されたり、街

の活性化などについて懇談を深められました。

初めて実施された合同部会をこれで終わらせることなく、今後も合同部会による懇談や事業の実施を確認し、盛会に終わりました。



講演会の様子

交通運輸・港湾部会事業開催

去る11月25日に、松本交通運輸・港湾部会長をはじめ12名の部会員が参加し、講演会と交流会を行いました。

講演会は、舞鶴市産業振興部観光まちづくり室長の三浦裕明様をお招きし、人口減少社会と舞鶴の産業についてご講演をいただきました。講演の内容は、「人口減少は消費人口の減少であり、何も手を打たなければ市内経済は縮小します。舞鶴市では、『赤れんがパーク』を観光拠点としてまちなかへの人流の拡大を促したり、クルーズ客船寄港や国際フェリーの誘致による交流人口の増加を積極的に進めていく必要があります。」との説明を受けました。

講演終了後の交流会では、講師を交え活発な意見交換を行いました。



講演会風景